

事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0384

令和5年度行政事業レビューシート							(文部科学省)					
事業名	日本オリンピック委員会補助			担当部局	スポーツ庁	作成責任者						
事業開始年度	平成2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 西川 由香						
会計区分	一般会計											
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第33条第3項			関係する計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 持続可能な国際競技力向上プラン(令和3年12月27日策定)							
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費							
施策	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備											
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-08.pdf											
事業の目的(5行程度以内)	スポーツ基本法(平成23年度法律第78号)の規定に基づき、我が国のスポーツ選手の育成・強化等を図り、スポーツ振興に寄与することを目的とする公益財団法人日本オリンピック委員会が行う事業に必要な経費の一部を補助し、もって、我が国のトップアスリートの国際競技力の向上を図るものである。											
現状・課題(5行程度以内)	過年度決算において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部翌年度への繰り越し不要額が多く発生した。今後の執行においては、コロナ禍等により事業の実施に影響が出た場合にどのような代替措置を取り得るかの検討が必要であり、引き続き予算の効率的で適正な執行に努め、事業の適切な実施を図ることとする。											
事業概要(5行程度以内)	公益財団法人日本オリンピック委員会が行う、①日韓両国の親善・友好を図るとともに日本選手の競技力向上に資する日韓競技力向上スポーツ交流事業、②各競技における日本人の国際審判員を増やす国際審判員等養成プログラム、③国際総合競技大会へ日本代表選手団を派遣する国際総合競技大会選手団派遣事業の実施に必要な経費の一部を補助する。											
事業概要URL	-											
実施方法	補助											
補助率等	定額											
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	303	令和3年度	235	令和4年度	320	令和5年度	455.7	令和6年度要求	473.4
		補正予算(B)		-		-		-		-		-
		前年度から繰越し(C)		-		301		55		145		-
		翌年度へ繰越し(D)		▲ 301		▲ 55		▲ 145		-		-
		予備費等(E)		-		-		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		2		481		230		600.7		473.4
		執行額(G)		2		239		153		-		-
		執行率(%) =(G)/(F)		100%		50%		67%		-		-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		1%		102%		48%		-		-
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)					
(項)	スポーツ振興費				物価上昇や燃料費高騰による積算単価の増加等。							
(目)	民間スポーツ振興費等補助金		456	473								
	その他		▲ 0									
	計(A)		455.7	473.4								

活動内容① (アクティビティ)		韓国選手・チームとの合同合宿、実戦的な国際試合を実施し、競技力の更なる向上を目指すと共に、日韓両国の親善友好の促進に努める。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		競技団体が日韓競技力向上スポーツ交流事業に参加	日韓競技力向上スポーツ交流事業の参加団体数	活動実績	団体	-	-	2	-	-
				当初見込み	団体	11	11	11	11	11
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		効果発現の初期段階として、競技団体が交流事業に参加することにより、日韓で友好を図ることを重要とする認識の普及につながると考えられるため、短期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		日韓交流事業で友好を図ることを重要とする認識の普及	交流事業参加者の内、親善友好が深まったと感じた人の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		アンケート調査、事業実績報告書等 (新たに指標を設定したため実績は未記載)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		日韓交流事業により、日韓親善友好が深まったと感じた割合が増えることにより、友好を図ることを重要とする認識の普及につながると考えられるため、長期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		日本のスポーツによる交流で友好を図ることを重要とする認識の普及	交流事業参加者の内、親善友好を図ることが重要だと感じる人数の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		補助団体でアンケート調査等を実施し、そのデータをもとにアウトカムを検討 (新たに指標を設定したため実績は未記載)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		国際競技大会に日本のスポーツ界を代表するにふさわしい選手団を派遣することにより、大会を通じて国際親善を図るとともに、我が国のスポーツ振興に寄与する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		開催が予定されている国際総合競技大会への日本選手団派遣	日本選手団を派遣可能な大会数に対する実際に派遣した大会数	活動実績	大会数	1	1	1	-	-
				当初見込み	大会数	2	2	2	4	2
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		効果発現の初期段階として、多くの競技団体を日本選手団として国際競技大会等に派遣することにより、国際競技大会に参加する選手の増加につながると考えられるため、短期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		多くの日本人選手が国際総合大会に参加	派遣大会における日本人選手の国際競技大会参加者数	成果実績	人	-	831	208	-	
				目標値	人	-	-	-	647	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		事業計画書及び事業実績報告書等								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		多くの日本人選手が国際総合大会に参加することにより、日本人選手が国際競技大会等で活躍する機会の増加につながると考えられるため、長期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		日本人選手の国際総合大会での活躍	派遣大会における日本人選手の入賞数	成果実績	入賞数	-	136	98	-	
				目標値	入賞数	-	-	-	150	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		事業計画書及び事業実績報告書等								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)		各競技において日本人の国際審判員等を増やすことにより、国際競技大会における我が国のプレゼンスを高め、日本代表選手の競技環境を向上させる。								
↓										
活動目標及び活動実績③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		競技団体において審判員を国際研修会等に派遣	当該事業に参加した審判員の数	活動実績	人	74	342	390	-	-
				当初見込み	人	-	-	-	-	-
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		効果発現の初期段階として、国際競技大会等に日本人審判員を派遣することにより、各競技団体における国際大会レベルの審判員増加につながると考えられるため、短期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		各競技団体における国際大会レベルの審判員増加	競技団体における国際大会に対応可能な審判員の数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		アンケート調査、事業実績報告書等 (新たに指標を設定したため実績は未記載)								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		各競技団体における国際大会レベルの審判員増加により、日本人審判員が活躍する機会が増え、国際競技大会での我が国のプレゼンスが高まると考えられるため、長期アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		日本人審判員の活躍により国際競技大会での我が国のプレゼンスが高まる	国際大会等での日本人審判員の採用数(担当試合数)	成果実績	試合数	-	-	-	-	
				目標値	試合数	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		補助団体でアンケート調査等を実施し、そのデータをもとにアウトカムを検討 (新たに指標を設定したため実績は未記載。目標値については、アンケート調査結果を勘案し設定する。)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
事業に関連するKPIが定められている関連決定等		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

事業所管部局による点検・改善										
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的・予算の執行状況については、民間スポーツ振興費等補助金交付要綱に基づき、日本オリンピック委員会から提出のあった交付申請書を適切に審査し、真に必要な経費に限り補助金の交付決定を行っているところである。 ・補助事業の額の確定作業については、現地調査を行い証拠書類(収支簿、見積書、納品書、請求書等)を確認することにより、適切な執行がなされているか審査するとともに、事業の内容、目的との整合性について直接確認を行っている。 ・補助団体にヒアリングを行いながら、適切な目標設定に向けて検討していく。 					目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)				
改善の方向性	引き続き交付申請書の適切な審査や証拠書類等の確認等を行うことで、交付要綱や事業目的に沿った事業実施がなされるよう努めていく。									
外部有識者の所見										
外部有識者による点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
事業内容の一部改善	この事業は、令和4年度決算において、一部翌年度に繰り越されたほか、不要額が多く発生しており、今後の執行においてコロナ禍により事業の実施に影響が出た場合にどのような代替措置を取り得るか検討し、計画的な予算執行を実施すべきである。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
年度内に改善を検討	令和4年度事業は、コロナ禍により大会の延期等で繰り越しが発生した。感染症等により事業の実施に影響が出た場合の代替案を検討しながら、適切な執行計画を立て、計画的な予算執行に努める。									
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ									
	上記への対応状況									
	その他の指摘事項									
上記への対応状況										
備考										
スポーツ基本計画URL https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成23年度	362									
平成24年度	390									
平成25年度	353									
平成26年度	340									
平成27年度	338									
平成28年度	318									
平成29年度	327									
平成30年度	331									
令和元年度	文部科学省	-		0325						
令和2年度	文部科学省			0327						
令和3年度	2021	文科	20	0351						
令和4年度	2022	文科	21	0355						

スポーツ庁
153百万円

公益財団法人日本オリンピック委員会が行う国際総合競技大会選手団派遣事業や日韓競技力向上スポーツ交流事業等の実施に必要な経費の一部を補助する。

【補助】

A. 公益財団法人日本オリンピック委員会
153百万円

国際総合競技大会選手団派遣事業等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
国際交流事業費	国際総合競技大会派遣事業等による派遣者への旅費交通費、諸謝金、メディカルチェック費	94.2				
選手強化事業費	日韓競技力向上スポーツ交流事業に係る旅費交通費・雑役務費等、国際審判員等プログラムに係る旅費交通費・雑役務費等	58.4				
計		152.6	計			

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本オリンピック委員会	6011005003378	国際総合競技大会選手団派遣事業等	153	補助金等交付	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	